

一バリアフリー情報が 目で完成

『福祉マップ』が完成



障害をもつ方などへ施設のバリアフリー情報を伝え、行動範囲を広げてもらうための『福祉マップ』が、『福祉マップ作成市民会議』の手作りの編集で、3月29日に完成しました。

この『福祉マップ』は、障害をもつ方やその家族をはじめ、福祉団体関係者や市民が集い、企画の段階から利用者の立場に立って、できるだけわかりやすく作られたものです。

また、作成の過程では、アンケート調査を障害をもつ方が自ら行うなど、市民や事業所などへの啓発効果や市民のバリアフリーに対する認識を高めるよい機会にもなりました。

この『福祉マップ』は、5月1日(水)から、障害をもつ方が市役所、各支所、若草つどいセンター、しんた21の窓口障害者手帳を持参するともらうことができます。

問い合わせ 社会福祉課
(☎85 1911)



昨年7月から8回開催された福祉マップ作成市民会議

夢と希望を胸に 428人が入学

～第21回日本工学院北海道専門学校入学式～



4月12日(金)、日本工学院北海道専門学校で入学式が行われました。

毎年100%に近い就職率を誇る当校では、今年度から自動車工学科と総合テクノロジー科が設けられ、また、新たに医療課程として、しん灸科と柔道整復科が新設され、合計で10学科となりました。

道内外から昨年の2倍を超える428人の新生を迎えた入学式では、中川明弘(なかがわあきひろ)校長が「人生の価値はやる気で決まる。しっかり勉強して健康で明るい学園生活を送ってください」とあいさつ。新生を代表して柔道整復科の中江侑子(なかいゆうこ)さんが「私の目標は国家資格をとること。新鮮な空気と豊かな緑に囲まれた素晴らしい環境の中で、思い切り励み努力します」と誓いの言葉を述べました。

突然のけがや病気に備える

～赤十字救急法講習会(短期)～

3月28日(木)、『赤十字救急法講習会(短期)』が市民会館で開かれ、市民17人が参加しました。

この講習会は、思いがけない事故にあったり、病気になった場合の応急手当の知識と技術を習得してもらおうと、日本赤十字社登別市地区が、毎年、市民を対象に開催しているものです。

参加者は、三角巾やダンボールなど日用品を活用した応急処置のほか、物干し竿と毛布を使っての応急担架の作り方、傷病者の移動方法など、真剣なまなざしで赤十字救急法指導員の指導を受けていました。

